

令和6年度

## 入学者選抜に関する要項



独立行政法人国立高等専門学校機構  
富山高等専門学校

**【教務課】**

〒939-8630 富山県富山市本郷町 13 番地  
電話 (076) 493-5498 FAX (076) 493-5488

<https://www.nc-toyama.ac.jp/>

# 目 次

1	お知らせー昨年度からの主な変更点についてー	1
2	入学者選抜日程の概要	1
3	準学士課程（本科）アドミッションポリシー（入学者選抜受入方針）	1
4	募集学科，募集人員	2
5	選抜方法，検査日	3
6	入学者選抜に関する合理的配慮の提供について	3
7	商船学科における身体等の基準について	4
8	国際ビジネス学科における環日本海諸国語の選択について	5
	<b>【推薦による選抜】</b>	
1	出願資格	6
2	選抜の方法	6
	<b>【学力検査による選抜】</b>	
1	出願資格	7
2	選抜の方法	7
	<b>【帰国生徒特別選抜】</b>	
1	出願資格	9
2	選抜の方法	9

※本要項は令和5年5月時点での情報を記載しております。入学者選抜に関する詳細な事項については、秋頃に発行予定の「令和6年度学生募集要項」をご確認ください。

## 1 【お知らせ】昨年度からの主な変更点について

- 推薦による選抜の出願期間について、WEB 出願及び出願書類受付期間が、最終日は12時を締切といたしますのでご注意ください。
- 推薦による選抜においては、第2及び第3志望学科の選択を設けず、いずれの学科も第1志望学科のみ選択とします。
- 学力検査による選抜の検査場について、今年度より本校の主たる受験地としての「東京海洋大学会場」は設置しませんので、『最寄り地受験制度』をご活用ください。

なお、国立高等専門学校機構では令和5年度本科入学者選抜から、推薦による選抜・学力検査による選抜・帰国生徒特別選抜において、WEB出願システムを利用しております。

## 2 入学者選抜日程の概要

選抜区分	対象学科	WEB出願受付期間	出願書類受付期間	検査日	結果通知日	確約書提出日
推薦による選抜	全学科	令和5年 12月11日(月) ～令和6年1 月5日(金)12 時	令和5年 12月22日(金)～ 12月26日(火), 令和6年1月4日(木) ～1月5日(金)12時	令和6年 1月14日(日)	令和6年 1月18日(木) 発送	令和6年 1月25日(木) 17時
学力検査による選抜	全学科	令和6年 1月15日(月) ～1月25日 (木)	令和6年 1月22日(月) ～25日(木)	令和6年 2月11日(日)	令和6年 2月15日(木) 発送	令和6年 2月22日(木) 17時
帰国生徒特別選抜	全学科	令和6年 1月15日(月) ～1月25日 (木)	令和6年 1月22日(月) ～25日(木)	令和6年 2月11日(日)	令和6年 2月15日(木) 発送	令和6年 2月22日(木) 17時

## 3 準学士課程（本科）アドミッションポリシー（入学者選抜受入方針）

富山高等専門学校は、次の3つを教育理念としています。

- (1)専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成（創意・創造）
  - (2)自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成（自主・自律）
  - (3)豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成（共存・共生）
- 本校ではこの理念に基づいて、①中学までに基礎的な知識・技能を修得し、②自分の考えや判断を他者に伝える表現力を持ち、③主体的に他者と協働できる人を求めています。
- 特に各学科では次のような人を求めています。

○求める学生像

[機械システム工学科]

- 1 自動車・航空機、ロボット、スポーツや医療分野などで人々に役立つ機械に興味がある人
- 2 機械を設計する、つくる、動かす、制御する知識と技術を身に付けたい人
- 3 機械の設計・開発で、人々の生活を豊かにし、社会に貢献したい人

[電気制御システム工学科]

- 1 電子工作やコンピュータなどのものづくりやプログラミングに興味がある人
- 2 ロボットや人工知能技術のように電気、電子、情報技術を融合した知識を身に付けたい人
- 3 創意工夫により新しい技術を作り出し、社会に貢献したい人

〔物質化学工学科〕

- 1 身のまわりや自然界にある化学・生命の現象にワクワクする人
- 2 実験が好きで、身に付けた技術を化学や環境の分野で役立てたい人
- 3 最先端の化学を活用して、広く産業の発展に貢献できる技術者を目指す人

〔電子情報工学科〕

- 1 ものづくりが好きでコンピュータに興味がある人
- 2 情報、電子、通信の基礎技術から AI・IoT への応用技術を身に付けたい人
- 3 自ら考えて行動できるエンジニアになって社会に貢献したい人

〔国際ビジネス学科〕

- 1 外国語や異文化に興味がある人
- 2 ビジネス分野の知識を身に付けたい人
- 3 国際的な視野をもって社会で活躍したい人

〔商船学科〕

- 1 海や自然に興味がある人
- 2 大型船の船長・機関長をめざす人
- 3 海事技術者として世界を舞台に活躍したい人

○選抜の基本方針

◇推薦による選抜（全学科共通）

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜します。

◇学力検査による選抜（全学科共通）

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。

学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科とします。

○帰国生徒特別選抜

（機械システム工学科，電気制御システム工学科，物質化学工学科，電子情報工学科及び商船学科）

中学校における調査書，学力検査及び面接の結果を総合して選抜します。

学力検査は，理科，英語，数学及び国語の4教科とします。

（国際ビジネス学科）

中学校における調査書，学力検査及び面接の結果を総合して選抜します。

学力検査は，理科，英語，数学，国語及び社会の5教科とします。

※カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針），ディプロマポリシー（卒業認定方針）については、本校ホームページ（<https://www.nc-toyama.ac.jp/>）に掲載していますので、ご参照ください。

## 4 募集学科，募集人員

学科別の募集人員は，下表のとおりです。

ただし、「推薦による選抜」の募集人員は，各学科とも入学定員の原則50%程度とします。また、「帰国生徒特別選抜」の募集人員は，各学科とも若干名とします。

キャンパス	学 科	定 員	
本郷キャンパス	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	40名	240名
	電 気 制 御 シ ス テ ム 工 学 科	40名	
	物 質 化 学 工 学 科	40名	
射水キャンパス	電 子 情 報 工 学 科	40名	
	国 際 ビ ジ ネ ス 学 科	40名	
	商 船 学 科	40名（注）	

（注）3年次より航海コースと機関コースに分かれます。各コースに定員がありますので，3年次進級時に本人の希望と成績によりコース分けを行います。

## 5 選抜方法、検査日

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜及び帰国生徒特別選抜の3つの方法で実施します。検査日は下表のとおりです。

選 抜 区 分	検 査 日
推 薦 による 選 抜	令 和 6 年 1 月 14 日 (日)
学 力 検 査 による 選 抜	令 和 6 年 2 月 11 日 (日)
帰 国 生 徒 特 別 選 抜	令 和 6 年 2 月 11 日 (日)

なお、本校への入学確認（入学に関する説明会）を富山県内公立高校の入試日に実施します。

## 6 入学者選抜に関する合理的配慮の提供について

富山高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに下記相談窓口までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一个月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、入学志願者、入学志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等専門学校等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては、提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

〈相談窓口〉

〒939-8630 富山市本郷町13番地 富山高等専門学校教務課

TEL (076) 493-5498 FAX (076) 493-5488

メール nyushi@nc-toyama.ac.jp

## 7 商船学科における身体等の基準について

本校では日本国において定められている諸法に則った教育活動を実施しています。身体基準の規定を設けることは「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（いわゆる『障害者差別解消法』）」に抵触する可能性があります。

一方で、船舶職員養成課程では「船員法施行規則」及び「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」の遵守も求められているため、現状ではその規定に適応する形で身体基準を設けざるを得ません。船舶職員養成課程を担っている商船学科では卒業までに合計1年間の大型練習船実習があります。大型練習船実習では船員法施行規則が準用され、船員法施行規則第二号表に該当する場合、実習を受けられず、卒業できない場合があります。出願を希望する者はこの点に十分留意するように求めます。

商船学科を志望する場合、本校では船員法施行規則準用により、次の基準を満たす必要があります。

視力	視力（矯正視力を含む）が両眼ともに0.5以上であること。
色覚	石原式色覚検査表国際版で正常であること、あるいはパネルD-15を用いた検査で合格すること。 〔必ず、医師、看護師又は養護教諭による検査を受けてください。 軽度の色弱又はその疑いがある者は、眼科医の診断書を添付してください。〕
聴力	5m以上の距離で、話声語を弁別できること。
疾病及び身体機能の障害	疾病又は身体機能の障害があっても軽症で修学（練習船実習を含む。）に支障をきたさないと認められること。 ※「心臓疾患、視覚機能の障害、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害その他の疾病又は身体機能の障害」がある場合、「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」により海技免許の取得ができない場合があります。
その他	船舶職員を育成することを目的とするため、修業年限のうち1か年（2年次1か月、4年次5か月、6年次6か月）の練習船による実習課程に耐える健全な身体が必要とされます。

※身体基準について、不明な点及び以下の参考資料に掲げる項目に該当する恐れがある者（過去に該当していた者を含む）、あるいは精神の機能障害や薬の副作用の症状などが認められる者は、必ず出願前に教務課入試担当（電話：0766-86-5132）へお問い合わせください。

### 《 参考資料 》

「船員法施行規則」第二号表『健康検査合格標準表』

次の各号のいずれかに該当する者は不合格とする。

#### 1. 法第八十一条第三項第一号の伝染病として下記のいずれかにかかっている者

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する鳥インフルエンザ、コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、ウエストナイル熱、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q熱、サル痘、ジカウイルス感染症、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、チクングニア熱、デング熱、東部ウマ脳炎、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、発しんチフス、マラリア、野兔病、リフトバレー熱、類鼻疽、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱、アメーバ赤痢、急性ウイルス性肝炎、ク

- リプトスポリジウム症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、梅毒、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、同法第六条第七項から第九項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症
2. 障害の程度、経歴及び職務を考慮し、視覚機能、言語機能又は精神の機能の障害により作業を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができないと認められる者
  3. 第一号に掲げる疾患を除く下記の疾患にかかっている者で船内において治療の見込みがなく、かつ、船内労働に適さないと認められる者  
各種結核性疾患、新生物、糖尿病、心臓病、脳出血、脳梗塞、肺炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、肝硬変、慢性肝炎、じん臓炎、急性ひ尿生殖器疾患、てんかん、重症ぜんそくその他の疾患
  4. 下記の視力、聴力及び握力の標準に達しない者
    - (1) 視力（万国視力表により検査した視力で矯正視力を含む。）  
船長、甲板部の職員及び甲板部航海当直部員にあつては両眼共に0.5号、無線部の職員にあつては両眼共に0.4号、その他の者にあつては両眼で0.4号を明視しうる。ただし、船員として相当の経歴を有し、職務により作業を適正に行うことができると認められる者は、この限りでない。
    - (2) 聴力  
両耳で、5メートル以上の距離で話声を聴取できること。ただし、船員として相当の経歴を有し、職務により作業を適正に行うことができると認められる者は、この限りでない。
    - (3) 握力  
男子の握力は、左右共に25キログラム以上、女子の握力は、左右共に17キログラム以上であること。ただし、船員として相当の経歴を有し、職務により作業を適正に行うことができると認められる者は、この限りでない。
  5. 色覚に異常を有する船長、甲板部の職員及び部員、機関部の職員及び航海当直部員、無線部の職員並びに救命艇手
  6. 障害の程度、経歴及び職務を考慮し、運動機能の障害により作業を適正に行うことができないと認められる者
  7. 病後の衰弱により一定期間内の船内労働に適さないと認められる者

## 8 国際ビジネス学科における環日本海諸国語の選択について

令和6年度国際ビジネス学科入学者より、教育課程表の選択科目（外国語）において、環日本海諸国語は、中国語またはロシア語から選択することとなります。

# 推薦による選抜

## 1 出願資格

令和6年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込みの者で、下記(1)～(4)の各要件を満たしている者のうち、在籍学校長が責任をもって推薦できる者

- (1) 本校への入学意思が確実であること。
- (2) 人物が優れていること。
- (3) 志望学科に対して、適性、興味及び関心を有すること。
- (4) 中学校第3学年（中学校以外はこれに相当する年次）における学習記録評定（5段階評定）において、以下の条件を満たすこと
  - ・機械システム工学科，電気制御システム工学科，物質化学工学科，電子情報工学科及び国際ビジネス学科は，5教科（数学，理科，英語，国語，社会）合計20以上かつ9教科合計32以上
  - ・商船学科は，9教科合計32以上

## 2 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書及び調査書並びに面接の結果を総合して判定を行います。

### (1) 検査日、内容及び検査場

検査日	令和6年1月14日（日）
検査内容	個別面接 （1人10分程度）

### (2) 検査場

検査場	住所	第1志望学科
富山高等専門学校 （本郷キャンパス）	〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地	機械システム工学科 電気制御システム工学科 物質化学工学科
富山高等専門学校 （射水キャンパス）	〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2	電子情報工学科 国際ビジネス学科 商船学科

### (3) 配点等

調査書評価点（2年次及び3年次）及び面接評価点を合計した総合点により、志望学科毎に、総合点上位の者から入学定員の原則50%程度を合格者とします。

ただし、面接評価点に必要最低得点を定め、必要最低得点に満たない志願者は、選抜対象から除外します。

○機械システム工学科，電気制御システム工学科，物質化学工学科，電子情報工学科においては、数学，理科を重視して選抜を行います。

○国際ビジネス学科においては、英語を重視して選抜を行います。

○商船学科においては、9教科を均等に扱い、選抜を行います。

# 学力検査による選抜

## 1 出願資格

### ○全学科共通

- (1) 中学校を卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者及び令和6年3月に修了見込みの者
- (3) 義務教育学校を卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者及び修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年6月18日文部省告示第58号）
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

## 2 選抜の方法

入学者の選抜は、調査書及び学力検査の結果を総合して判定を行います。  
学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科全てを受験するものとします。

### (1) 検査日時及び内容

検査日	令和6年2月11日（日）	
検査内容 時間 (予定)	理 科	9 : 30～10 : 20
	英 語	10 : 50～11 : 40
	数 学	12 : 10～13 : 00
	国 語	13 : 50～14 : 40
	社 会	15 : 10～16 : 00

### (2) 検査場（予定）

検査場	住 所	検査場について
富山高等専門学校 (本郷キャンパス)	〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地	左記2検査場のいずれか または、最寄り地受験会場※を 選択することができます。
富山高等専門学校 (射水キャンパス)	〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2	

※国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において『最寄り地受験制度』を導入しています。詳細については、秋頃に発行予定の「令和6年度学生募集要項」をご確認ください。

### (3) 配点等

- ① 学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会について、各 100 点の配点とします。
- ② 調査書評価点は、中学校長等から提出された調査書等に基づき、次のア、イ、ウにより 200 点満点で算出します。
  - ア 中学校第 2 学年（中学校以外はこれに相当する年次）における 9 教科学習記録評定（5 段階評定）の合計値（60 点満点）
  - イ 中学校第 3 学年（中学校以外はこれに相当する年次）における 9 教科学習記録評定（5 段階評定）を 2 倍したものの合計値（120 点満点）
  - ウ 特別活動等に関する調査書評価点（20 点満点）
- ③ 学力検査の成績及び調査書評価点をもとに、本校当該学科の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判断して、選抜を行います。
- ④ 選抜に当たって、調査書に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることがあります。
- ⑤ 選抜は、志願者の総合判定結果をもとに、各学科で順位付けして行います。  
総合判定結果によって、当該学科を第 2 志望又は第 3 志望とする志願者を合格させることがあります。

### (4) 第 2 志望学科及び第 3 志望学科について

「学力検査による選抜」では、第 2 志望学科及び第 3 志望学科を以下のとおり選択することが可能です。

第 1 志望学科	第 2 志望学科	第 3 志望学科
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	左記の 6 学科のうち、第 1 志望とした学科を除いた残りの 5 学科から選択できます。	左記の 6 学科のうち、第 1 志望と第 2 志望学科を除いた残りの 4 学科から選択できます。
電 気 制 御 シ ス テ ム 工 学 科		
物 質 化 学 工 学 科		
電 子 情 報 工 学 科		
国 際 ビ ジ ネ ス 学 科		
商 船 学 科		

# 帰国生徒特別選抜

## 1 出願資格

### ○全学科共通

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、令和4年4月以降の帰国者）で、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 中学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 義務教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者

※出願する場合、あらかじめ、出願資格等を確認しますので、事前に本校に照会してください。

## 2 選抜の方法

入学者の選抜は、調査書、学力検査及び面接の結果を総合して判定を行います。

学力検査は、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科及び商船学科は、理科、英語、数学、国語の4教科、国際ビジネス学科（第2志望及び第3志望を含む）は、理科、英語、数学、国語、社会の5教科により行います。

### (1) 第2志望学科及び第3志望学科について

「帰国生徒特別選抜」では、第2志望学科及び第3志望学科を以下のとおり選択することが可能です。

第1志望学科	第2志望学科	第3志望学科
機械システム工学科	左記の6学科のうち、第1志望とした学科を除いた残りの5学科から選択できます。	左記の6学科のうち、第1志望と第2志望学科を除いた残りの4学科から選択できます。
電気制御システム工学科		
物質化学工学科		
電子情報工学科		
国際ビジネス学科		
商船学科		

※国際ビジネス学科を志望される場合（第2志望及び第3志望を含む）には5教科の受験が必要です。

## (2) 検査日時及び内容

○機械システム工学科，電気制御システム工学科，物質化学工学科，電子情報工学科及び商船学科

検査日	令和6年2月11日(日)	
検査内容 時間 (予定)	理科	9:30~10:20
	英語	10:50~11:40
	数学	12:10~13:00
	国語	13:50~14:40
	面接	15:10~

○国際ビジネス学科(第2志望及び第3志望を含む)

検査日	令和6年2月11日(日)	
検査内容 時間 (予定)	理科	9:30~10:20
	英語	10:50~11:40
	数学	12:10~13:00
	国語	13:50~14:40
	社会	15:10~16:00
	面接	16:20~

## (3) 検査場

検査場	住所	第1志望学科
富山高等専門学校 (本郷キャンパス)	〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地	機械システム工学科 電気制御システム工学科 物質化学工学科
富山高等専門学校 (射水キャンパス)	〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2	電子情報工学科 国際ビジネス学科 商船学科

※検査場は，第1志望学科のあるキャンパスとなります。

※「帰国生徒特別選抜」では，最寄り地受験会場での受験はできません。

ご不明な点がございましたら，教務課入試担当（電話：076-493-5498）へお問い合わせください。